

平成 28 年度 第 1 回

八戸市地域包括支援センター運営協議会

日時：平成 28 年 7 月 19 日(火) 午後 1 時 30 分
場所：八戸市庁 別館 2 階 会議室 C

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 平成 27 年度地域包括支援センター事業報告について
- (2) 平成 28 年度地域包括支援センター事業計画について
- (3) 介護予防支援業務委託事業者の承認について
- (4) その他

3. 閉 会

(1) 平成27年度 地域包括支援センター事業報告

1 地域包括支援センター運営協議会

月日	内容	出席者
7月8日(水)	(1)平成26年度地域包括支援センター事業報告について (2)平成27年度地域包括支援センター事業計画について	8人

2 総合相談支援業務

(1) 地域包括支援センター(市包括)及び地域包括支援センターサブセンター(サブセンター)における総合相談件数 ※()は、26年度実績

機関	内容	一般	困難	虐待	合計
	市包括	767件(916件)	823件(948件)	311件(289件)	1,901件(2,153件)
	サブセンター (H27年度設置)	1,784件	830件	68件	2,682件
	合計	2,551件	1,653件	379件	4,583件

○相談件数内訳

(単位:件)

種別 機関	相談内容(延べ)								相談者(延べ)						
	一人暮らし	認知症	精神疾患	住環境問題	経済的問題	サービス利用	介護力の低下	その他※1	本人	家族	民生委員	サブセンター	在宅介護支援センター	ケアマネジャー	その他※2
市包括	498	564	305	136	174	376	417	705	316	571	29	170	39	219	399
サブセンター	1002	609	166	55	46	1,244	545	718	480	768	268	—	12	203	2,450
合計	1,500	1,173	471	191	220	1,620	962	1,423	796	1,339	297	170	51	422	2,849

※1 医療受診、後見人、施設入所 等

※2 病院、施設、近隣住民 等

(2) 困難および虐待対応回数

※()は、26年度実績

	訪問	ケア会議	
		多職種会議※3	課内会議※4
市包括	287回(517回)	42回(86回)	81回
サブセンター	1,183回	21回	
合計	1,470回	63回	81回

※3 予め日時を設定し、多職種で行ったもの

※4 虐待相談の初動会議や虐待事例検討会

(3) 高齢者見守りネットワーク事業

見守りの必要な高齢者の変化に早めに気づき必要な支援を行うために、地域の活動を支える町内会、事業所などの関係機関によるネットワークを構築する。

①見守りネットワーク活動の普及・啓発

民間事業所及び関係機関への見守り協力依頼等

②高齢者見守りネットワーク連絡会

身近な町内単位で無理なく何気なく見守りや声掛けをして、緊急課題の早期発見や安否確認を行い、必要時に早期対応するシステムを作る。

設置町内：32 町内 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

活動内容：緊急連絡網作成、町内周知、ネットワーク新聞の回覧等

3 権利擁護事業

(1) 成年後見制度

○相談件数

	26 年度	27 年度
市包括	128 件	99 件
サブセンター	—	4 件
合計	128 件	103 件

○市長申し立て件数

26 年度	27 年度
4 件	6 件

(2) 八戸市高齢者虐待の取り組み状況

○養護者による虐待相談件数

	26 年度	27 年度
相談件数 (新規)	45 件	43 件
虐待件数 ※疑い含む	42 件	35 件
虐待有りと判断	23 件	30 件

○養護者による虐待支援状況

	26 年度	27 年度
生活支援ハウス入所	1 件	1 件
福祉施設入所	3 件	3 件
入院	7 件	6 件
その他分離	3 件	4 件
見守り・助言	28 件	21 件
計	42 件	35 件

○八戸市における養護者による高齢者虐待の特徴（以下は虐待有りと判断した件数の内訳）

		26年度		27年度	
虐待有りの件数		23件		30件	
虐待の種別		身体的 15件 経済的 4件	心理的 16件 放棄 3件	身体的 24件 経済的 2件	心理的 17件 放棄 3件
被虐待者	性別	女性 17人	男性 6人	女性 23人	男性 7人
	年齢	65～69歳 4人 75～79歳 4人 85歳以上 0人	70～74歳 10人 80～84歳 5人	65～69歳 3人 75～79歳 9人 85歳以上 5人	70～74歳 6人 80～84歳 7人
	介護度	未申請 17人 要支援 1人	申請中 2人 要介護 3人	未申請 15人 要支援 1人	申請中 0人 要介護 14人
	要因 ※上位3位まで	要介護 5件 病気について無理解、特別な疾患 各4件 認知症、精神障害、身体障害 各3件		認知症 16件 要介護 12件 病気について無理解 3件	
養護者	続柄 ※上位3位まで	夫 10人 娘 3人	息子 7人 婿 3人	息子 10人 娘 7人	夫 9人
	養護者が抱える問題 ※上位3位まで	病気について無理解、無職 各7件 介護負担・依存症・精神疾患・ 性格の偏り・お酒 各4件		性格の偏り 8件、 病気について無理解 6件 認知症、精神疾患 各5件	

（3）八戸市高齢者・障がい者虐待対策ケース会議

当会議では高齢者及び障がい者に対する虐待の早期発見・早期対応・防止を目的として、支援策の検討や関係機関の連携システムの構築を行うために、司法や医療、福祉等の構成員から意見を聴取、内容検討し県へ報告する。

（4）啓発活動

○平成27年度八戸市高齢者虐待防止研修会開催（2月10日）

テーマ：「介護が虐待にならないために～認知症の方への介護のポイント～」

講師： 認知症介護研究・研修仙台センター 主任研修研究員 ^{やぶき} 矢吹 ^{ともゆき} 知之 氏

○高齢者虐待防止パンフレットの配布

○成年後見制度に関するパンフレットの配布

○八戸地域虐待等困難事例ネットワーク研究会開催への協力

（5）市民後見推進事業

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な市民が成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めるとともに、市民後見人が適切に活動できるよう支援し、権利擁護の推進を図る。

① 八戸市市民後見推進協議会の開催

委員：弁護士、司法書士、社会福祉士、学識経験者、社会福祉協議会
 オブザーバー：青森家庭裁判所

回数	月日	内容
第1回	5月28日	1) 平成26年度フォローアップ研修会報告 2) 平成27年度のフォローアップ研修会計画(案)について 3) 平成27年度市民後見人候補登録者及び資料について 4) 市民後見人の複数後見について
第2回	6月11日	1) 市民後見人の推薦について 推薦者の面接・受任調整会議 (市民後見人2人推薦)

○平成27年度4人が市民後見人として活動。

② 八戸市市民後見人フォローアップ研修会

市民後見人候補者：13人

回数	月日	内容	出席者
第1回	7月31日	事例報告 「専門職後見人をおとしての成年後見制度とは」 ～事例(障がい者)を通しての後見人活動について～	11人
第2回	9月29日	講義 「日常生活自立支援事業と成年後見制度の違いについて」 ～後見監督人の役割と市民後見人との連携～	11人
第3回	11月4日	「権利擁護における市民後見人の役割について」 ～「基本的人権」「権利擁護」など「憲法」から市民後見人の 役割や意義を学ぶ～	10人
第4回	2月18日	活動報告 「市民後見人としての活動報告」 ～実践を通しての後見人の役割について～	11人

平均出席率 73.6%

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 包括的支援事業研修会

介護支援専門員等が、地域包括ケアを推進するために必要な知識・技術を習得することにより、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう支援する。

月日	内容	講師	出席者
10月7日 (水)	「在宅生活をいきいき過ごせるための予防リハビリ」	介護老人保健施設老人はくじゅ 理学療法士 飛嶋 良太 氏	95人
12月2日 (水)	「成年後見人ができないことからみた成年後見人の役割」	司法書士法人 わかば法務事務所 久保 隆明 氏	105人
1月20日 (水)	困難事例におけるケースワーク 「セルフ・ネグレクト問題における支援について」	八戸市委託高齢者 精神保健福祉相談員 安田 真氏	94人
合計			294人

(2) 在宅医療・介護連携推進事業

①八戸市医療・介護関係者多職種連携研修会

医療・介護関係者の多職種を対象に、相互理解や情報の共有等による関係の構築と連携推進を図ることを目的として研修会を開催する。

月日	内容	講師	出席者
10月18日 (日)	・基調講演 「地域包括ケアと個別包括ケアの連携と情報共有～高齢社会のICFとALP(アドバンスライフプランニング)～」 ・グループワーク 「在宅生活を支える医療と介護の連携について」	仙台往診クリニック 院長 川島 孝一郎氏 はちのへファミリークリニック 院長 小倉 和也氏	86人

②地域ケアマネジメント事例学習会

市内の介護支援専門員のアセスメント力向上を目指し、事例学習会開催が地域で定着するよう支援する。

○ケアマネジメント事例学習会

チーム	日時		会場	参加者
A:市川、根岸、下長、上長、 田面木、館、豊崎	9月11日	17:00～19:00	ケアステーションハピ 祝やくら	25人
	10月9日	17:00～19:00	特別養護老人ホーム ほっとハウス	27人
B: 柏崎、吹上 長者、 小中野、江陽	7月24日	17:00～19:00	りんごっこ寿楽荘	21人
	10月16日	17:00～19:00	りんごっこ寿楽荘	16人
C: 根城、是川、三八城、 白山台、南郷	7月9日	18:15～19:45	ひばりの里デｲｰビﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	25人
	9月10日	18:15～19:45	ひばりの里デｲｰビﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	25人
	11月14日	18:15～19:45	デｲｰビﾝｸﾞｾﾝﾀｰみやぎ	25人
D:大館、東、白銀、湊、鮫、 南浜	9月11日	17:00～19:00	サービス付高齢者住宅 かっこうの森	33人
	11月13日	17:00～19:00	妙水苑デイサービス	41人
			合計	238人

(3) 医療と介護の連携意見交換会

医療と介護のより円滑な連携を支援するために、医師（医師会・在宅療養支援診療所）、歯科医師、看護師、病院医療連携担当者、訪問看護師・訪問看護師、薬剤師、リハビリ関係者、介護福祉士、栄養士、短期大学講師、介護支援専門員、行政職員等との意見交換会を開催した。

月日	内容	出席数(人)
2月17日 (水)	連携の現状と課題、多職種の連携に関して 取り組みたいこと等についての意見交換	医師 3、歯科医師 2、薬剤師 3 医療連携室 1、看護師 3、 訪問看護師 1、理学療法士 1 作業療法士 1、言語聴覚士 1 介護福祉士 1、事務 1 社会福祉士 1、介護支援専門員 1 短期大学准教授 1、介護保険課 1 高齢福祉課 4 【計 26】

(4) 介護支援専門員に対する個別支援

○介護支援専門員が担当している困難ケースの相談に対する支援

平成 27 年度相談件数：120 件（うち新規 61 件、継続 59 件）

○ 相談件数の介護度別内訳（件）

介護度 なし	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
3	6	20	45	22	12	7	5	120

○ 相談内容（重複あり）

独居	認知症	家族	経済	精神	介護サービス	環境	虐待	後見	その他
35	58	34	23	21	48	6	44	2	19

※その他…医療、生活状況、その他のサービスについて等

○ 対応（重複あり）

助言	訪問	ケース会議	その他
111	17	21	3

(5) 地域ケア個別会議

高齢者が、住み慣れた地域での生活を続けられるよう個別事例の解決策を検討し、高齢者を支援するネットワークを構築するとともに、地域の課題を抽出する。

月日	内容	出席者
12月21日	南郷地区における地域課題について	14人

5 介護予防ケアマネジメント業務

(1) 平成27年度 月別要支援認定者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	553	541	552	563	562	559	557	569	564	571	567	568	6,726
要支援2	1,019	999	1,016	1,029	1,018	1,027	1,020	1,007	985	993	993	1,008	12,114
計	1,572	1,540	1,568	1,592	1,580	1,586	1,577	1,576	1,549	1,564	1,560	1,576	18,840

(2) 介護予防支援 給付管理数(年間件数)

	24年度	25年度	26年度	27年度
委託事業所	7,070件	8,057件	9,013件	9,499件
包括支援センター	4,345件	4,349件	4,431件	4,403件
合計	11,415件	12,406件	13,444件	13,902件

6 介護予防事業

(1) 通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業の利用状況

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
事業参加者	通所型	運動機能向上	76人	175人	180人	193人	227人
		口腔機能向上	0人	0人	0人	0人	28人
		栄養改善	0人	0人	0人	0人	0人
		総合型介護予防	3人	5人	0人	0人	0人
		認知症予防	4人	6人	28人	38人	32人
	訪問型	0人	0人	0人	0人	0人	
計		83人	186人	208人	231人	287人	

(2) 地域回想法による介護予防推進事業

一次予防事業対象者※へ懐かしい写真や生活用具を用いて自分自身が体験したことを語り合ったり、過去に思いをめぐらす「回想法」を行うことにより、高齢者が自ら介護予防に取り組む必要性を理解し、地域において自発的な介護予防の活動が実践できるよう支援する。

6地区(柏崎、根岸、長者、江陽、白銀、南郷)で42人に対し、2か月間(週1回、計8回)実施した。

※65歳以上の元気な高齢者

7 家族介護支援事業

(1) キャラバン・メイトの支援及び認知症サポーター養成講座

① キャラバン・メイトの支援

ア) キャラバン・メイトフォローアップ研修の開催

- ・開催日時：平成28年2月12日(金)
- ・講演「認知症の治療と地域とのつながり」

- ・講師：はちのへ認知症疾患医療センター 深澤 隆氏
- ・目的：認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、効果的な認知症サポーター養成講座開催に向けて知識の普及を行い、キャラバン・メイト同士の連携を深めることを目的とする。
- ・出席者：八戸市内キャラバン・メイト 37名

イ) ボランティア保険の加入

- ・認知症サポーター養成講座開催時の事故等に備えるため、八戸市内のキャラバン・メイトを、社会福祉協議会で実施しているボランティア保険に加入させた。
- ・加入者：八戸市内キャラバン・メイト 73名
- ・補償期間：平成 27 年 4 月 11 日～平成 28 年 3 月 31 日

②認知症サポーター養成数

○平成 27 年度までの認知症サポーター養成数実績

	18～24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	合計
講座開催数	207 回	28 回	45 回	62 回	342 回
サポーター数	7,939 人	887 人	1,378 人	2,192 人	12,396 人
キャラバンメイト 従事者数(延)	459 人	69 人	102 人	195 人	825 人

○平成 27 年度 認知症サポーター内訳

	一般住民	職域	学校	合計
サポーター数	714 人	971 人	507 人	2,192 人
割合	32.6%	44.3%	23.1%	100%

※平成 27 年度の特徴

- ・講座全体の約 3 割をキャラバン・メイトが自主的に企画し、開催した。
- ・学校開催は、約 6 割をキャラバン・メイトが企画、開催した。
- ・職域では、金融機関や介護・医療施設、大型量販店での複数開催が多かった。

(2) 認知症フォーラム

市民が認知症を正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの重要性を理解するほか、認知症に関わる各種団体が連携を図る重要性を知るために開催する。

日時：平成 27 年 11 月 8 日（日）10：00～16：00

場所：八戸市総合福祉会館（はちふくプラザねじょう）

主催：八戸市 受託者：公益社団法人 認知症の人と家族の会青森県支部

共催：株式会社エーザイ

後援：八戸市医師会、八戸歯科医師会、八戸薬剤師会、八戸地域介護サービス協議会、八戸地区認知症高齢者グループホーム協議会、青森県介護支援専門員協会八戸支部、八戸地域介護支援専門員協議会

来所総数：190人

・午前の部：①体験発表：「家族が認知症になった時 ～葛藤を共に乗り越えて～」

小林信子 氏 南澤美絵 氏

②認知症の人と家族の会 青森県支部活動レポート

出席者：110人

・午後の部：①基調講演「映像から見る認知症」

講師 沖田裕子 氏 NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター代表

横川清司 氏 NHKエンタープライズエグゼグティブプロデューサー

出席者：157人

②支え合うために～地域の取り組み～

- ・認知症サポーター養成講座について
- ・八戸市あんしんカード事業について
- ・八戸管内における徘徊する高齢者の保護の現状と対策
- ・若年認知症者への支援
- ・新しい認知症連携ネットワークについて

ほか、認知症に関する情報や、家族の会活動紹介コーナー、認知症よろず相談コーナーを設置した。

(3) 定住自立圏八戸市あんしんカード事業

八戸市内に住むおおむね 65 歳以上で、認知症等により徘徊して自宅に帰ることができなくなるおそれがある方の情報を事前に八戸市に登録してもらい、その情報を八戸警察署に提供する。もし、登録者が徘徊して保護された場合、登録情報から個人を特定して、すみやかにご家族等に連絡する。

登録者には登録番号を載せたカードを交付。平成 24 年度からは八戸圏域定住自立圏の事業となり、八戸市を含む周辺 8 市町村で実施している。

八戸市登録者数：225 人（平成 28 年 3 月 31 日現在）

(4) 高齢者生活支援サポーターの養成・活用

平成 21 年度から 2 か所の在宅介護支援センターに委託して、高齢者生活支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支える支援をする。

① 養成

月日	地区	内容	出席者（人）
6月11日・18日 7月9日・16日	三八城・根城	・地域包括支援センターについて ・守秘義務について	19
11月5日・12日 19日	大館・東	・高齢者の基礎知識、擬似体験 ・コミュニケーションについて	5

② 活用

○サポーター登録者数 142 人（平成 28 年 3 月末）

○平成 27 年度の活動人数 71 人

支援内容：介護予防教室の手伝い、ストーブに灯油を入れる、話し相手、雪かき等

8 その他

(1) 地域密着型サービス事業所の運営推進会議出席

27年4月～28年3月 27か所51回（市包括28回、サブセンター23回）の運営推進会議へ出席した。

(2) 地域包括支援センター職員打ち合わせ会（年3回）

八戸地域包括支援センターサブセンター職員、在宅介護支援センター職員との情報交換、意見交換及び課題の検討を行う。

内容：地域支援事業推進（介護予防教室、見守りネットワーク、二次予防事業、高齢者生活支援サポーター等）の情報提供と情報交換（グループワーク）。

出席者：地域包括支援センター職員、八戸地域包括支援センターサブセンター職員、在宅介護支援センター職員

平成27年度 高齢者保健福祉サービスに関する啓発活動

	開催月日 時 間 場 所	テーマ	方法	参加対象者	人数	従事者
1	27年5月22日(金) 19:00~20:00 はちふくプラザねじょう	○地域包括ケアシステム構築に向けた 八戸市地域包括支援センターの活動	講義	青森県介護支援専門 員協会八戸支部会員	60	中居
2	27年6月19日(金) 10:30~11:45 八戸保健所	○八戸市における認知症対策について	講義	やさしい手の会	18	畑中
3	7月3日(金) 10:00~11:00 60分 寺分生活館	○認知症予防 転倒予防	講義	寺分 蓮の会	27	山村
4	7月14日(火) 14:10~15:00 50分 根岸公民館 ホール	○お口の健康	講義	根岸地区老人クラブ 連合会	50	沼岡
5	27年9月4日(金) 10:00~12:00 はちふくプラザねじょう	○介護保険制度と八戸市地域包括支援 センターの役割	講義	鷗鳴大学1年	66	中居
6	9月10日(木) 10:00~11:30 八戸市更生館	○熱中症の予防	講義	おためしディサービス かぶしま 利用者	16	沼岡
7	9月25日(金) 10:35~11:15 湊公民館	○介護予防について	講義	湊地区老人クラブ連 合会	90	畑中
8	10月27日(火) 10:00~10:50 みなくる諏訪	○お口の健康	講義	柏崎3丁目 好友クラブ	10	沼岡
9	11月12日(木) 10:00~11:40 小田生活館	○介護予防について	講義	小田老人クラブ太陽 会	20	畑中
10	11月17日(火) 10:30~11:30 是川公民館	○介護予防	講義	南郷地区人高齢者	135	江渡
11	11月18日(水) 10:30~11:30 老人福祉センター 南郷	○認知症予防	講義	是川老人クラブ	56	江渡
12	11月18日(水) 10時30分~ 40分 糠塚集会所	○体を動かしたりするもの	講義	東糠塚	39	山村
13	28年1月15日(金) 10:00~12:40 静岡県総合研修所	○認知症地域支援推進員活動について 事例提供	講義	認知症地域支援推進 員研修受講者	90	畑中
14	28年1月15日(金) 14:10~14:40 八戸市公会堂	○高齢者の見守りのポイント	講義	ほのぼの交流協力員 高齢者サロンのリー ダー 消費者アシスト隊	360	沼岡
15	28年1月28日(木) 10:00~11:30 はちふくプラザねじょう	○介護予防(ロコトレ運動)について	講義	八戸市老人クラブ連 合会	95	山村
16	28年2月10日(水) 11:00~17:00 ホテル 青森	○介護予防の視点について	講義	包括支援センター 職員 介護支援専門員	400	酒井
17	27年5月~7月 計17回	○八戸市地域包括支援センターの役割 について センターの役割	講義	地区民生委員 児童委員協議会	298	包括支援 センター職 員
計		33回			1,830人	

平成27年度 サブセンター・在宅介護支援センター推進事業実績

サブセンター・在宅介護支援センター	総合相談(延)			訪問									介護予防プラン作成 (一次の実人数十二次の実人数)(人)	介護予防教室等		ボランティア育成・活用(回)	見守りネットワーク (地域連絡協議会開催等)		民生委員定例会等(回)	地域密着型サービス運営推進会議(回)	ケア会議(回)	
	来所(延件数)	電話(延件数)	計	予防支援(延件数)	虐待事例(延件数)	困難事例(延件数)	一般事例(延件数)	実態把握						主催(回)	講師・協力(回)		地域					
								一次予防(件)		二次予防(件)							事業利用	地域				個人
								実	延	実	延	実										
八戸市医師会	48	540	588	67	67	534	66	54	54	150	150	13	204	24	2	26	0	0	26	3	3	
みやぎ	28	1,011	1,039	63	15	52	162	99	99	304	341	32	403	26	7	10	0	1	24	2	7	
福寿草	15	318	333	72	3	85	201	189	203	177	222	41	366	31	24	30	13	0	24	3	2	
ちょうじやの森	19	176	195	57	2	69	240	297	297	130	130	20	427	21	1	19	1	0	22	2	0	
修光園	23	359	382	36	0	58	159	60	60	159	159	11	219	32	27	24	0	2	14	2	1	
瑞光園	42	467	509	58	5	75	299	279	279	165	165	33	444	21	4	20	11	0	15	4	1	
寿楽荘	14	323	337	48	20	47	444	227	227	190	199	4	417	32	0	33	22	0	21	4	3	
アクティブ24	6	191	197	47	12	73	240	84	88	202	228	26	286	18	12	17	1	0	13	2	2	
はくじゆ	4	376	380	32	23	48	446	141	142	273	339	15	414	36	3	34	8	2	2	4	0	
在宅介護支援センター	なんろく	3	110	113	/	0	9	152	121	117	119	126	8	240	7	8	1	0	0	12	/	/
	たえみ	3	285	288	/	6	12	110	103	112	139	223	11	242	32	6	34	5	0	25	/	/
	グリーン ハイツ	18	463	481	/	0	111	61	203	240	219	298	23	422	28	2	40	0	0	0	/	/
計		223	4,619	4,842	480	153	1,173	2,580	1,857	1,918	2,227	2,580	237	4,084	308	96	288	61	5	198	26	19

平成27年度 サブセンター・在宅介護支援センター推進事業に関する自己評価

＜総合相談＞

- 困難ケースの対応に苦慮しており不安もある。
- 病院を含む関係機関と連携を図りながらネットワーク作りをしていく。
- 早期対応ができるよう、サブセンター・在宅介護支援センターのPRをすると共に、民生委員等地域の方々と情報共有・連携を図っていく。

＜実態把握・介護予防プラン＞

- サブセンターでは27年度から困難・虐待ケース対応が業務に追加され、稼動がかかっているため実態把握の件数が減少しているところもあるが、目標件数は実施できている。
- 二次予防事業に興味・関心はあるが、実際に参加に結びつく人数は少ない。
- 二次予防事業利用者が増加したり、相談が増加すると事務量が増加し負担もある。

＜介護予防教室＞

- 地域や内容により、参加者数や参加者に違いがある。
- 運動・認知・口腔とバランスよく実施できている。
- 教室の内容がマンネリ化しており悩んでいる。

＜見守りネットワーク＞

- 地域によって見守りネットワークがなくても見守り体制ができているところもある。
- ネットワークが立ち上がっていてもなかなか集る機会がないところもある。
(町内役員や民生委員の方たちの多忙や体調不良等の理由もある)
- 既存のネットワークの協力者の高齢化している。
- 情報管理の難しさや人手不足がありネットワークが立ち上がらない地区もある

＜ボランティア育成・活用＞

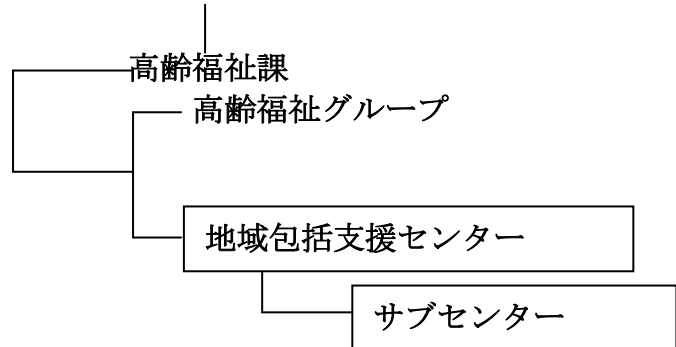
- 活用はできているが、育成が困難。
- 活用場所は、介護予防教室が主で、個別の活用はほとんどない。
- ボランティアの高齢化が課題であり、若い年代のボランティアへの関心が低い。
- 実際活動しているメンバーが固定化している。

(2)平成28年度 地域包括支援センター事業計画

平成 28 年度八戸市地域包括支援センター体制

1 設置概要

- 1) 設置 : 八戸市 1 か所
 2) 施設設備 : 配置 : 福祉部 高齢福祉課 地域包括支援センター
 八戸市 ————— 福祉部



- 3) 事務室 : 高齢福祉課
 4) 相談室 : 市庁別館 1 階 地域包括支援センター分室

- 24 時間体制 : ① 高齢福祉課 緊急初動体制に基づき対応する。
 ② 包括支援センターサブセンター (9 か所)、在宅介護支援センター (3 か所) が 24 時間体制をとっている。

2 職員配置状況

H28.4.1 現在

職 種	常 勤	非常勤	合 計
保健師	6	—	6
主任介護支援専門員	2	6	8
社会福祉士	3	10	13
看護師	—	8	8
社会福祉主事	—	2	2
介護支援専門員	—	2	2
事務	2	0	2
合 計	13	28	41

※ (有) ひかり介護支援事業所に高齢者虐待及び精神保健福祉問題等対応支援業務を委託している

【平成28年度八戸市地域包括支援センター 担当地区分担表】

平成28年4月1日

八戸市地域包括支援センター		総括 原 栄子		連絡先:TEL43-2111 (内線 5153~5158)
チーム	地域包括支援センター		★サブセンター・在宅介護支援センター	担当地区
A チ ーム	◎ 夏堀 愛子 <社>	澤頭 ひろみ (看・介)	★修光園サブセンター(1人) 高奥佳代子(社) TEL 96-6507	中居林 是川
			沼岡 裕子 (保)	中村 優子 (歯・介)
	中坂 和裕 <主介>	唯野 聡子 (社・介)	★サブセンター瑞光園(2人) 笹川 佳子(主介) 中村 祥恵(社) TEL 25-0103	南浜 鮫 白銀南
	大沢 真未 <保>	工藤 真結美 (社・精・介)	★サブセンター寿楽荘(2人) 山田 睦子(主介) 小田巻 郁恵(社) TEL 52-8000	市川 根岸
			◎酒井 明美 <主介>	桑原 寛子 (社・介)
B チ ーム	江渡 聡子 <保>	平蔵 優貴子 (看)	★サブセンターアクティブ24(2人) 吉田 由美子(看) 上端 美紅(社) TEL 45-3000	小中野 江陽
	島田 拓巳 <社>	山田 万輝 (社主)	★みやぎサブセンター(2人) 櫻橋 和加子(主介) 杉下 由紀恵(社) TEL 71-2271	三八城 根城
			グリーンハイツ 吉田 郁子 TEL 31-0521	湊 白銀
	◎ 山村 由希子 <保>	夏川戸 淳子 (社主)	★八戸市医師会サブセンター(2人) 立崎 公章(社) 大浦智香子(看) TEL 38-3820	柏崎 吹上
蛭名 葵 <社>	手倉森 悠 (介・介)	★サブセンター福寿草(2人) 川井 純子(主介) 下館 礼子(看) TEL 38-7612	大館 東	
		木村 真樹 (看)	★はくじゅサブセンター(2人) 久保沢 光浩(社) 佐々木 ひとみ(主介) TEL 20-4400	下長 上長
畑中 さおり <保>	助川 幸子 (看・介)	たえみ 小笠原 裕美子(社主) 山口 亜矢子(社・兼務) TEL 090-1060-7094	田面木 館 豊崎	
全体事務		竹井 秀帆(主幹) 丸谷 良子		
窓口非常勤専門職員		成田 仁美 尾ヶ瀬 一恵		
応援体制		AはBに依頼 BはCに依頼 CはAに依頼		

平成28年度 八戸市地域包括支援センター事業計画

1. 目的

介護保険法第9条に掲げる者(以下「被保険者」という。)が要介護状態等になることを防止するとともに、要介護状態等になった場合においても、可能な限り地域において自立した生活を営むことができるよう、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

2. 目標

- (1) 高齢者が安心安全に暮らせる環境づくりに努める
- (2) 介護予防の普及啓発を図る
- (3) 認知症支援を推進する
- (4) 高齢者の権利擁護に努める
- (5) 在宅医療・介護連携の推進を図る

3. 基本機能

- (1) 共通的支援基盤構築
- (2) 総合相談支援・権利擁護
- (3) 包括的・継続的マネジメント
- (4) 介護予防ケアマネジメント
- (5) 在宅医療・介護連携の推進
- (6) 認知症施策の推進
- (7) 生活支援サービスの体制整備
- (8) 介護予防事業の推進

4. 事業実施計画

(1) 共通的支援基盤事業

- ① 地域包括支援センター運営協議会開催…………… 年2回
- ② 地域住民に対する広報
- ③ 地区民生委員・児童委員定例会での包括支援センター説明…………… 25地区中9地区

(2) 包括的支援事業

1) 総合相談支援業務

- ① 高齢者、家族等からの相談対応、支援
- ② サブセンター、在宅介護支援センターによる高齢者の実態把握
- ③ 高齢者町内見守りネットワーク連絡会への支援
- ④ 見守りネットワークの普及・啓発

2) 権利擁護業務

- ① 虐待への対応
- ② 高齢者あんしん相談窓口での相談
- ③ 高齢者・障がい者虐待対策ケース会議開催
- ④ 高齢者虐待防止出前講座の実施
- ⑤ 高齢者虐待防止研修会開催……………年1回
- ⑥ 成年後見制度の活用
- ⑦ 市民後見推進事業
- ⑧ 成年後見センター事業（5月1日から社会福祉協議会へ委託）

3) 包括的・継続的マネジメント

- ① 包括的支援事業研修会開催……………年3回
- ② 地域ケアマネジャー事例検討会開催支援……………4ブロックで開催
- ③ 地域ケア個別会議開催……………年6回
- ④ 地域におけるケアマネジャーのネットワーク構築

4) 介護予防ケアマネジメント業務

- ① 要介護のおそれのある高齢者（二次予防事業対象者）の介護予防ケアマネジメント
- ② 予防給付に関するケアマネジメント
 - a. 要支援1・2の介護予防ケアプラン作成……………1,000件以上

5) 在宅医療・介護連携の推進

- ① 医療と介護の多職種連携意見交換会開催……………年3回
- ② 在宅医療・介護関係者研修会開催……………年1回

6) 認知症施策の推進

- ① 認知症地域支援推進員の配置……………5名（今年度2名増員）
- ② 認知症ケアパス作成（今年度末までに完成予定）
- ③ 高齢者福祉合同研修会（認知症に関するテーマ）開催……………年1回
- ④ 認知症初期集中支援推進事業実施に向けた準備

7) 生活支援サービスの体制整備

- ① 生活支援サービスの充実に関する研究会開催…………… 年1回
- ② 高齢者の生活実態調査実施

(3) 介護予防事業

1) 二次予防事業

- ① 通所型介護予防事業
- ② 訪問型介護予防事業

2) 一次予防事業

- ① 介護予防の普及啓発
 - a) サブセンター・在宅介護支援センターによる介護予防教室開催
 - b) 地区老人クラブ連合会会員等の介護予防教室
- ② 地域介護予防活動支援事業
 - a) 地域回想法の実施
- ③ 介護・認知症予防センター

(4) 家族介護支援事業

1) 認知症高齢者見守り事業

- ① 認知症サポーター養成講座普及…………… サポーター1,000人以上養成
- ② 認知症サポーターフォローアップ研修会開催…………… 年1回
- ③ キャラバンメイトフォローアップ研修会開催…………… 年1回
- ④ 認知症フォーラム開催（「認知症と家族の会」へ委託）…………… 年1回
- ⑤ 八戸市あんしんカード事業（定住自立圏）

2) 地域生活自立支援事業

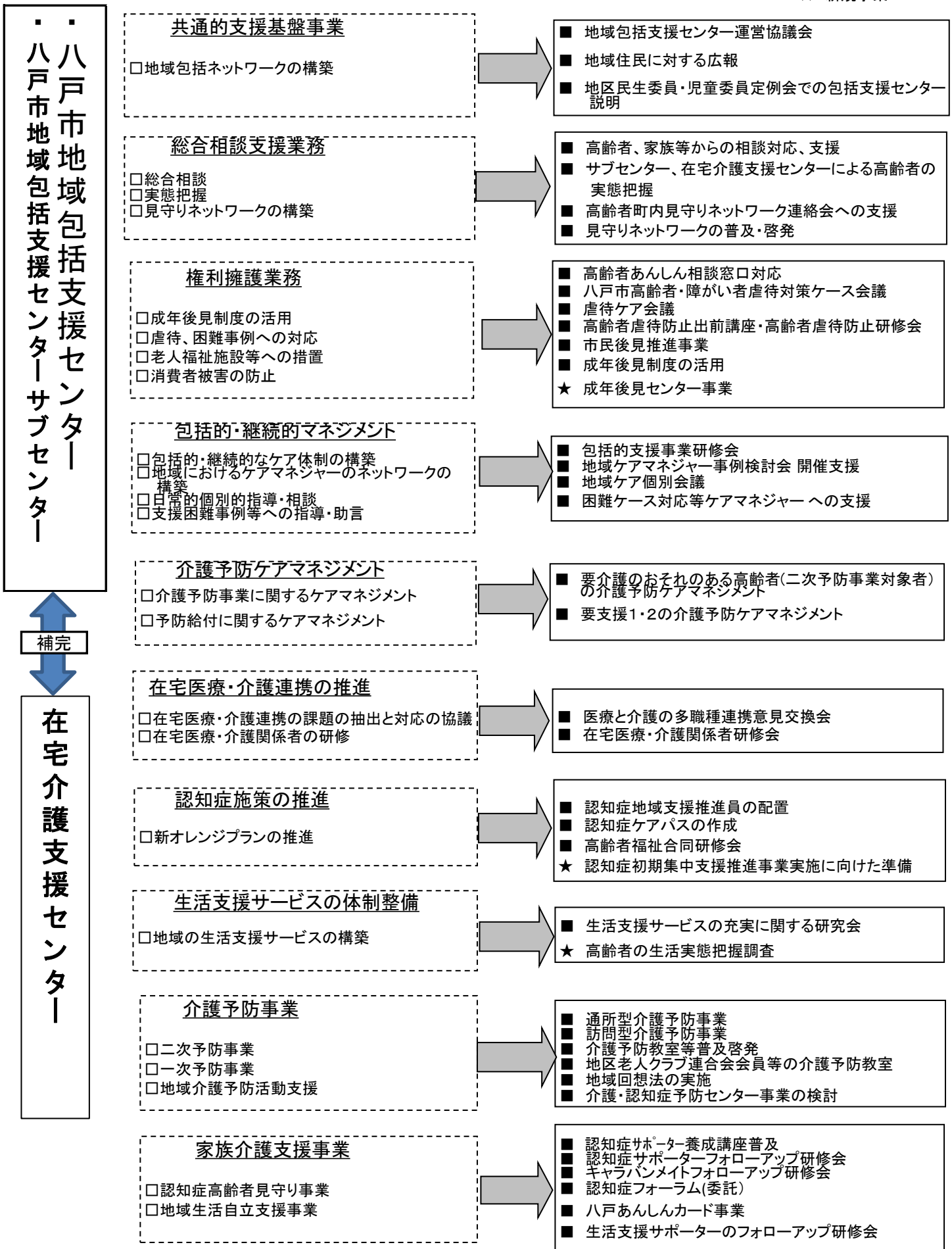
- ① 生活支援サポーターのフォローアップ研修開催…………… 年1回

(5) その他

- 1) 地域密着型サービス運営推進会議参加…………… 年91回
- 2) 地域包括支援センター関係職員打合せ会…………… 年3回
- 3) 二次予防事業及び介護予防マネジメントの総合事業への移行（10月1日～）

平成28年度八戸市地域包括支援センター事業計画

★ 新規事業



(3) 介護予防支援業務委託事業者の承認について

介護予防支援業務委託事業者の承認について

(1) 委託事業所

	事業所名（法人名）	事業所所在地
新規	しろがね居宅介護支援事業所（株式会社しずく）	八戸市白銀町字堀ノ内 6-5

(2) 職員に関する事項

事業所名	常勤・非常勤の別	専従・兼務の別	経験年数	受持利用者数	給付管理者数	事業所全体の要支援1・2受託可能件数
しろがね 居宅介護支援事業所 ※基準日：平成28年7月1日	常勤	専従	8年	22人	20人	8件
	常勤	専従	6年	17人	17人	

(3) 給付管理者数について

（単位：人）

事業所	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
しろがね 居宅介護支援事業所 （平成28年7月分）	0	0	7	5	5	11	9	37

(4) 委託事業所数

当該事業所を含め、委託事業所数 90 事業所、今後の委託可能見込件数 244 件。

（平成28年6月分委託件数 808 件）